

令和7年度 長崎大学教育学部附属小学校 校長だより

「らしさ」輝く附属小

第25号 令和7年12月5日(金) 校長 森内 秀学



人権について考える

現在、本校は人権週間。それに伴い、12/2(火)は人権集会でした。



まずは、スマイルチームのやさしさプロジェクトのメンバーが、縄跳びで引っかかった人の声掛けの場面を劇で演じました（左）。人権を大切にするという視点から考えると、どんな声掛けが適切なのか、あなたはできているか、という投げ掛けは、子どもが発信するからこそ訴えかけるものがありました。

その後の校長講話は、「ぼくはなきました」という絵本の読み聞かせ。作者は「くすのき しげのり」さんです。「互いに那人『らしさ』を認め合い、助け合い、伸ばし合うことが、人権を大切にすることではないか。」という趣旨の話をするために使いました。

12/10(水)は、世界人権デー。御家庭でも人権について考えてみませんか？



「らしさみっと」～私服登校～

「時々私服で登校できるようにすれば、その人らしさが鮮明になり、仲が深まる」という提案を基に行われた、「第3回『らしさみっと』」。「附属小らしさはどうなる？」という意見も根強く、紛糾中です。

ルールを自分たちで考えるというのは、とても大切なことです。

感謝！工作椅子寄贈

図工の昆先生や学部長等の御尽力で、廃校した学校から、絵画室に、工作椅子（左）を寄贈いただきました。買うと1台6万円！これで、ますます工作が楽しくなりそうです。



オンラインで工場見学

12/3(水)
は、5年生が

社会科の学習で、オンラインによる日産自動車の工場見学を行いました（上）。ポイントを絞った説明や、見たいところがアップで表示される見せ方の工夫は、子どももメモを取りやすく、学びやすそうでした。

行かずに学べる…“時代”ですねえ。

税を学ぼう

5年生と同じ日、6年生は、同じく社会科の学習で、財務省財務局の方をお招きし、税について学びました（右上）。いろんな税の仕組みや役割について知識を得た子どもたちは、どう使うかという問い合わせに、熱く討論していました。税が一層身近になったようです。

